



tv asahi 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名 株式会社テレビ朝日

上場取引所 東

コード番号 9409 URL <http://www.tv-asahi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 森岡 信夫

TEL 03(6406)1111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	177,525	2.7	9,115	33.0	11,117	33.3	6,415	43.8
22年3月期第3四半期	172,937	△8.3	6,854	57.2	8,339	39.2	4,460	114.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	6,387.68	—
22年3月期第3四半期	4,440.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	304,416	242,355	78.0	236,316.21
22年3月期	303,261	239,895	77.4	233,753.83

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 237,360百万円 22年3月期 234,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
23年3月期	—	1,000.00	—		
23年3月期(予想)				2,000.00	3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	2.5	9,200	27.5	11,500	31.5	6,000	98.4	5,973.61

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	1,006,000株	22年3月期	1,006,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	1,582株	22年3月期	1,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	1,004,418株	22年3月期3Q	1,004,418株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 継続企業的前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
平成23年3月期 第3四半期決算短信補足資料	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益が改善し、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、失業率が高い水準で推移するなど、厳しい状況が依然として続いております。また、海外経済の回復テンポの鈍化や為替レートの変動など、先行きへの懸念は払拭できない状況です。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が引き続き前年同期を上回って推移するなど、緩やかに回復しております。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努め、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,775億2千5百万円(前年同期比+2.7%)、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,684億9百万円(同+1.4%)となりました結果、営業利益は91億1千5百万円(同+33.0%)となりました。

また、経常利益は111億1千7百万円(同+33.3%)、四半期純利益は64億1千5百万円(同+43.8%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、依然スポンサーの固定費削減傾向にあるなかで、23時台のネットセールス枠新設や視聴率が好調なレギュラー番組の単価上昇などにより、レギュラー番組のセールスは前年同期に比べ増収となりました。単発番組についても、「2010FIFA ワールドカップ南アフリカ」やスポンサーのニーズに合った番組などを編成することで増収となり、タイム収入合計は642億9千1百万円となりました。

スポット収入は、前年下半期からの回復基調が続き、好調に推移しました。業種別では、「出版」「食品・飲料」「家庭用品」などが低迷しましたが、「サービス・娯楽」「輸送機器」「金融・保険」などが好調に推移し、656億1千2百万円となりました。

また、番組販売収入は91億5百万円、その他収入は152億6千9百万円となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は1,542億7千9百万円、営業費用が1,479億7千4百万円となりました結果、営業利益は63億4百万円となりました。

②音楽出版事業

“ケツメイシ”のシングル3作品のリリースや“HY”の全国ツアー、また、音楽著作権の管理事業が好調に推移したことなどにより、音楽出版事業の売上高は51億6千万円となりました。また、営業費用は44億5千8百万円となりました結果、営業利益は7億2百万円となりました。

③その他事業

携帯電話向け会員制有料情報サービスの「EZ ニュース EX」が堅調なインターネット事業が好調に推移したものの、前年同期に「国宝 阿修羅展」があったイベント事業の反動減などにより、その他事業の売上高は248億8千4百万円、営業費用は227億3千4百万円となりました結果、営業利益は21億4千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比11億5千5百万円増の3,044億1千6百万円となりました。これは、投資有価証券が時価の下落などにより52億1千9百万円減少したものの、土地が97億3千8百万円増加したことなどによります。

負債合計は、支払手形及び買掛金が24億6千万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比13億4百万円減の620億6千万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比24億5千9百万円増の2,423億5千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は78.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

テレビ広告市場は、東京地区のスポット広告の出稿量が、前年同期を上回る状況で推移しております。

こうした市況のなか、当社のスポット収入が予想を上回り、好調に推移していることから、連結、個別ともに、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも平成22年10月29日発表の業績予想を上回る見通しであります。

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	233,800	8,500	10,400	5,500	5,475.81
今回発表予想(B)	236,000	9,200	11,500	6,000	5,973.61
増減額(B-A)	2,200	700	1,100	500	
増減率(%)	0.9%	8.2%	10.6%	9.1%	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	230,236	7,216	8,744	3,024	3,011.40

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	210,400	5,800	7,400	4,200	4,174.95
今回発表予想(B)	211,700	6,400	8,500	4,800	4,771.37
増減額(B-A)	1,300	600	1,100	600	
増減率(%)	0.6%	10.3%	14.9%	14.3%	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	206,723	4,376	6,647	2,340	2,326.58

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の商品等のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、商品等の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が437百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,863	9,720
受取手形及び売掛金	63,003	60,311
有価証券	52,102	51,103
たな卸資産	8,611	10,915
その他	6,732	6,580
貸倒引当金	△170	△133
流動資産合計	139,143	138,497
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,912	21,173
その他(純額)	41,585	44,962
有形固定資産合計	72,497	66,136
無形固定資産		
その他	6,350	6,754
無形固定資産合計	6,350	6,754
投資その他の資産		
投資有価証券	71,081	76,300
その他	15,726	15,907
貸倒引当金	△383	△334
投資その他の資産合計	86,425	91,872
固定資産合計	165,272	164,763
資産合計	304,416	303,261
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,860	13,320
未払法人税等	3,124	540
役員賞与引当金	70	82
その他	32,524	34,386
流動負債合計	46,579	48,330
固定負債		
退職給付引当金	13,463	13,196
役員退職慰労引当金	616	560
その他	1,401	1,277
固定負債合計	15,480	15,034
負債合計	62,060	63,365

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	147,140	142,736
自己株式	△321	△321
株主資本合計	238,804	234,400
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,207	516
繰延ヘッジ損益	△74	—
為替換算調整勘定	△162	△130
評価・換算差額等合計	△1,444	385
少数株主持分	4,995	5,109
純資産合計	242,355	239,895
負債純資産合計	304,416	303,261

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	172,937	177,525
売上原価	127,299	127,348
売上総利益	45,637	50,177
販売費及び一般管理費	38,783	41,061
営業利益	6,854	9,115
営業外収益		
受取利息	155	107
受取配当金	583	626
持分法による投資利益	531	1,093
その他	413	398
営業外収益合計	1,684	2,226
営業外費用		
固定資産廃棄損	152	81
貸倒引当金繰入額	—	47
その他	47	94
営業外費用合計	199	224
経常利益	8,339	11,117
特別利益		
投資有価証券売却益	122	—
特別利益合計	122	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	63
投資有価証券評価損	42	55
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	437
特別損失合計	42	555
税金等調整前四半期純利益	8,418	10,561
法人税等	3,416	3,876
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,684
少数株主利益	542	268
四半期純利益	4,460	6,415

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	147,262	4,627	21,047	172,937	—	172,937
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,544	113	4,030	6,688	(6,688)	—
計	149,806	4,741	25,077	179,625	(6,688)	172,937
営業利益	4,220	436	2,225	6,882	(27)	6,854

(注)1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業：テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権利収入

音楽出版事業：音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業：イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社内に事業別の管理部署を置き、各管理部署は、取り扱う事業についての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業別のセグメントから構成されており、「テレビ放送事業」「音楽出版事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「テレビ放送事業」は、当社が放送するテレビ番組の制作及び放送に係る事業であり、「音楽出版事業」は音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業であり、「その他事業」はテレビ番組を中心としたコンテンツから派生、テレビ放送と連携する事業であり、イベント事業、DVD販売、出資映画事業、ショッピング事業等を網羅的に展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	151,928	4,997	20,599	177,525	—	177,525
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,350	163	4,284	6,799	△ 6,799	—
計	154,279	5,160	24,884	184,324	△ 6,799	177,525
セグメント利益	6,304	702	2,149	9,156	△ 41	9,115

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成23年3月期 第3四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期	前年同期比	
			22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期
売上高	172,937	177,525	4,588	2.7%
タイム収入	63,207	64,291	1,084	1.7%
スポット収入	62,068	65,612	3,544	5.7%
番組販売収入	8,759	8,694	△ 65	△ 0.7%
その他収入	13,227	13,329	102	0.8%
音楽出版収入	4,627	4,997	369	8.0%
その他事業収入	21,047	20,599	△ 447	△ 2.1%
営業費用	166,082	168,409	2,327	1.4%
営業利益	6,854	9,115	2,260	33.0%
売上高営業利益率	4.0%	5.1%	1.1%	
営業外収益	1,684	2,226	541	32.1%
(うち持分法による投資利益)	(531)	(1,093)	(562)	(105.9%)
営業外費用	199	224	24	12.2%
経常利益	8,339	11,117	2,778	33.3%
売上高経常利益率	4.8%	6.3%	1.5%	
特別利益	122	—	△ 122	—
(うち投資有価証券売却益)	(122)	(—)	(△ 122)	(—)
特別損失	42	555	513	—
(うち投資有価証券売却損)	(—)	(63)	(63)	(—)
(うち投資有価証券評価損)	(42)	(55)	(12)	(29.6%)
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	(—)	(437)	(437)	(—)
税金等調整前四半期純利益	8,418	10,561	2,142	25.5%
法人税等	3,416	3,876	460	13.5%
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,684	—	—
少数株主利益	542	268	△ 273	△ 50.4%
四半期純利益	4,460	6,415	1,955	43.8%

2. セグメント情報

(単位：百万円)

	22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期	前年同期比	
テレビ放送事業				
売上高	149,806	154,279	4,472	3.0%
タイム収入	63,672	64,291	618	1.0%
スポット収入	62,189	65,612	3,423	5.5%
番組販売収入	9,169	9,105	△ 63	△ 0.7%
その他収入	14,775	15,269	493	3.3%
営業費用	145,586	147,974	2,388	1.6%
営業利益	4,220	6,304	2,084	49.4%
音楽出版事業				
売上高	4,741	5,160	419	8.8%
営業費用	4,304	4,458	154	3.6%
営業利益	436	702	265	60.7%
その他事業				
売上高	25,077	24,884	△ 193	△ 0.8%
営業費用	22,852	22,734	△ 117	△ 0.5%
営業利益	2,225	2,149	△ 75	△ 3.4%
消去又は全社				
売上高	△ 6,688	△ 6,799	△ 110	1.7%
営業費用	△ 6,660	△ 6,758	△ 97	1.5%
営業利益	△ 27	△ 41	△ 13	47.8%
合 計				
売上高	172,937	177,525	4,588	2.7%
営業費用	166,082	168,409	2,327	1.4%
営業利益	6,854	9,115	2,260	33.0%

※第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますが、上記補足資料では参考情報として、前第3四半期連結累計期間の区分等に基づいて実績を表示しております。

「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期	前年同期比	
ショッピング事業収入	6,865	6,659	△ 206	△ 3.0%
イベント事業収入	4,026	2,831	△ 1,195	△ 29.7%
インターネット関連収入	2,121	2,488	367	17.3%
DVD販売収入	2,013	2,443	429	21.3%
CS事業収入	1,731	1,908	176	10.2%
出資映画事業収入	1,433	1,650	217	15.2%
その他	6,885	6,902	17	0.3%
合 計	25,077	24,884	△ 193	△ 0.8%

3. 損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期	前年同期比	
			22年3月期第3四半期	23年3月期第3四半期
売上高	156,033	159,595	3,561	2.3%
タイム収入	63,917	64,291	374	0.6%
スポット収入	62,223	65,612	3,389	5.4%
番組販売収入	9,173	9,105	△ 67	△ 0.7%
その他収入	1,291	1,350	59	4.6%
その他事業収入	19,428	19,235	△ 193	△ 1.0%
営業費用	151,349	152,902	1,552	1.0%
営業利益	4,683	6,692	2,008	42.9%
売上高営業利益率	3.0%	4.2%	1.2%	
営業外収益	2,437	1,707	△ 730	△ 30.0%
営業外費用	146	202	56	38.8%
経常利益	6,975	8,196	1,221	17.5%
売上高経常利益率	4.5%	5.1%	0.6%	
特別利益	120	—	△ 120	—
(うち投資有価証券売却益)	(120)	(—)	(△ 120)	(—)
特別損失	42	526	483	—
(うち投資有価証券売却損)	(—)	(34)	(34)	(—)
(うち投資有価証券評価損)	(42)	(55)	(12)	(29.6%)
(うち資産除去債務 会計基準の適用に伴う影響額)	(—)	(437)	(437)	(—)
税引前四半期純利益	7,053	7,670	616	8.7%
法人税等	2,314	2,723	409	17.7%
四半期純利益	4,739	4,947	207	4.4%